

登場人物紹介

若手編集者
ウワイ

ヤンマガ編集部期待の(?)2年目編集で、『MFゴースト』担当編集。勉強はできるがクルマのことはさっぱりという“さとり世代”。



クルマライター
アンドー

自動車メディア業界で暗躍するフリーの編集ライター。風貌も発言もうさんくさいが、クルマに関する知識やクルマ愛は本物。



第1〜7巻、累計
170万部突破!!
『MFゴースト』
しげの秀一
累計5000万部『頭文字D』の系譜を継ぐ、新公道最速伝説。『MFG』開幕戦決勝は2周目へ。ここでもカナダは86とともに、異次元の走りを見せつける。第7巻、大絶賛発売中!!

モテたい
なあ...

『MFゴースト』応援企画!!
クルマの知識もモテる技術(?)も
マスターできる特別企画、新章第16回!



公道最モテ伝説

MF GHOST

第15回 ウワイ、ドリフト界の神様に遭遇!

接近! 助手席試乗! の巻

入社2年目の

若手編集部員ウワイ。

これは、時代の波に

乗れない彼がクルマを

乗りこなすまでを

描いた物語である――。

「あらずじ」自動車動画媒体「ホッ

トバージョン」にまたもウワイが潜

入! しかも、今回は「頭文字D」

で多大なるご協力をいただいた、レ

ジエンド「ドリフトキング」略して

「ドリキン」こと、土屋圭市さんの

助手席を体験できることに! サー

ビス精神満点の超絶ドライビング

テクニックにウワイはKO寸前だ!

★ ★ ★
ウワイ 師匠、「ヒカキン」って聞



「頭文字D」の
聖地・群馬へ!

今回の取材の舞台となる群馬サイクルスポーツセンターまでの道のりは、トヨタ86のデモカーで駆け抜けた。ピュアスポーツカーは高速道路を走っても楽しいのだ

『ホットバージョン』さんの
取材現場へ潜入!



今回も「ホットバージョン」さんの取材現場にお邪魔させていただきました。ちなみに今回現地で取材していた内容は、ベストモータリングのYouTubeチャンネルで! (メンバーシップ制)
<https://www.youtube.com/channel/UCrsmuqPgCIs4PimiZs0t9w>

ウワイ いやー、着きましたね。『頭文字D』の聖地・群馬の山! 安ド ほら、あの後光が差してい

いたことあります? アンドー (以下、安ド) ああ、ユーチューバーな。ウワイ あれれ、なんか違うな...。『スナフキン』? いや、そ



男の仕事場に
美しい花が!

キラキラ♡

取材現場に到着すると、日本レースクイーン大賞で新人賞を受賞した高橋菜生ちゃん! 男臭いスタッフだらけの取材現場に一輪の花! ということで、つつい近くへ寄って匂いを嗅いでしまうウワイであつた。『てか、顔ちっさ! 足ながっ!』(ウワイ)

よろしく
お願い申し上げ
たてまつります！
(下緊張)

本物のドリキンに近づいた!



写真でしか見たことのなかったドリフトの神様に、ど緊張するウワイ。
「とっても優しいお顔をなさってました!」(ウワイ)

らっしゃるの方がドリフトの神様だ。
ヤンマガもお世話になつてゐるんだろ
うから挨拶しておいで。
ウワイ はうっ、ほ、本当ですね。
なんといいますが、ウチの編集長な
んかより、よっぽど強烈なオーラを
放たれてます。よ、よよ、よろしく
お願い申し上げます!
安ド サムライか! (笑)
ウワイ ふうっ、なんかとてもフ
レンドリーに接してただけました
よ。
安ド ドライブイングの腕だけでな
く、人間性も神様のような方だつた
な。しかも、キミに助手席試乗さ
せてくれるなんて最高だな。
ウワイ え? 聞いてないっす。
安ド なに言つてんだ。こんな機会
ないぞ。神様の助手席だぞ!
まずは現行型86助手席にて



足まわりやエアロでファインチューンを施したトヨタ86。この車両に乗るのは初めてのは
ずだが、土屋さんはいとも簡単に乗りこなす。そして、お手本のように軽快なドリフトから
ちょっと車体を左右に振ったりしてサービスも(笑)



こちらはAE86ドリキン号。言わずと知れた「頭文字D」の主人公・藤原拓海が駆るマシン
だが、土屋圭市オリジナルのチューニングが施されている。まるで羽でも生えているかの
ように、自由自在に車体方向を変えながら走り回っていた!

今回の格言
助手席に乗っているだけで
ドラテクが盗めるほど
神様の運転は甘くなかった!

ファンからしたら羨望の体験をしたウワイだが、「今日食べた上州豚のとんかつや試乗前に
会った高橋菜生ちゃんの肢体が、走馬灯のように頭の中を駆け巡っていました」(ウワイ)

いざ、助手席試乗へ!



助手席試乗スタート前。これから車内で何が起こるのか、まったく想像で
きていないウワイ。この時はまだハートも震えていたのだが?

安ド そうか、ドリキンさんはサ
ビス精神旺盛だなあ(笑)。
ウワイ そ、そうですね。2周目に
コースに入っていく際には、スタ
ート直後にジグザグ走行もしてくれ
ましたよ。そのサービスがありがた
く身体で受け止めたつもりですが、
心の中では「うおっ、勘弁して
くれええ〜」と唸っていました。
安ド うむ。走行中は何かお話を
れていなかったか?
ウワイ 「クルマって楽しいだろう」
「運転って楽しいだろう」「上手い人
の隣だと楽しいだろう」と笑顔で
おっしゃっていました。あの笑顔と
激しい走りとのギャップがすごかつ
たです。

次は土屋さんの愛車AE86
トレノの助手席にて走行
安ド おお、伝説のAE86とは、
感動ひとしおだな!
ウワイ え、ええ、まあ。嬉しい半面、
絶対に粗相できないという恐怖があ
りましたけどね。ただ、古いクルマ
とは思えないくらい走りが安定して
いてビックリしました。
安ド いや、こりゃ「頭文字D」
ファン垂涎の体験だったな。
ウワイ 試乗後に土屋さんが、「藤
原拓海はこの速さで走ってたんだ
よ」とおっしゃってたのが印象的
でした。「頭文字D」ってものすごい
ことしてたんですね。
安ド 何をいまさら!(笑)



外からはクルマがものす
ごく激しい動きをしてい
たように見えていたが、
土屋さんはクルマを降り
てもピンピンしたまま!
さすがレジェンド!

まるでUFOにさらわれた
後のようなウワイ。「助手
席からテクニクを盗も
うと思っていたんですが、
いったい何が何やら
……」(ウワイ)



レジェンドは
疲れ知らず!